

若いファッショニで 街の意識革命を

■座談会出席者（敬称略・順不同）

岸野恭久／有シンワ洋装店・取締役▽

笹原勝彦／株ハシスフォース・社長▽

久仁男／カブリコーン・社長▽

行雄／株アトリエハヤシ・社長▽

前田大蔵／デート株・取締役▽
山田恭正／株ウインザー・副社長▽

——神戸も「ファッショントリニティ都市」を宣言して13年になります。その間、「ファッショントリニティ」のような、メーカー中心の大規模な動きもあったわけですが、本日はファッショントリニティ界の最前線で活躍されている若いブティックの経営者の方々に集つて頂き、最近の神戸ファッショントリニティの動向や、今神戸ファッショントリニティにとって必要なものは何かについて語つて頂きたいと思います。

「最近は、服そのものより生活のスタイルですね。」

山田　神戸のファッショントリニティというのを考える時、僕なんかまだ街に対し表現しうるだけの自分なりのポリシーが見つからぬんです。その点、今まで神戸になかった新しいニーズを開拓されている笹原さんたちにすごく興味があるんですが。

笹原　確かにうちには新しいブランドも扱っていますが、どちらかと言うとメーカーの圧力なんです。押し出されているというのが現状ですね。

山田　それはそうかも知れませんね。メーカーは常に新しいファッショントリニティを作ろうとして企画を練つてますから、どれだけそれに同調できるかが我々の勝負みた



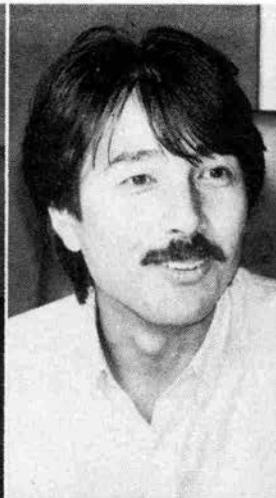
山田恭正



岸野恭久



林行雄



林久仁男



笹原勝彦



前田大藏

いなところはありますね。

笹原 今は店にイニシアチブはないですよ。昔は、自分が選んできたものを売るという喜びもありましたが、今は選択の自由もあまりない。

山田 本当ですね。紳士服でも婦人服でもそれは言える。岸野 でも「品揃え型」ショップの場合、そうでもないんじゃないですか。個々の店がポリシーをメーカー側に訴えていて、それに沿つたものを逆に創らせる。それが可能な時代だと思うんですが。

前田 少少の差はあっても、昔のように店のベースで商売できる状況でもないですよ。

林(久) 山田さんにとって、デザインアーズ・ブランドというものを特に神戸だからという意図でやっている訳ではないと思うんです。たまたまそういう風にやらないと生き残れないという状況の中でやつてきたことが成功している。流れに逆わずに自然にやつている訳ですよね。ところが一方では、神戸という土地に根を張つて古くから頑固にやつている人たちもいる。両極化しているんですよ。そういうスタイルが今ある中で、じやあ今度はどういうスタイルが考えられるか、ということを皆考えていると思うんです。

林(行) 扱う金額があまり大きくなりすぎると、逆にファッショントリックそのものの面白さは小さくなつてくると思います。やはり小さな店で自分の趣味にこだわつてやつてするのが一番面白い。ソロバン勘定が入つてくると違う方向に行つちやいますね。

——最近の若い人たちの意識なんかはどうご覧になりますか?

山田 もう若くないのでよく分かりませんが(笑)。一つ言えることは、最近は服そのものよりも、ファッショントリックそのものを生活のグロスで見る傾向がありますね。実は、去年の暮にあるバーでアーティーがあつて、19・20歳ぐらいの若い女の子の話をいろいろ聞いてみたんです。そしたら「アルファードはもう終わってる」って言つて

すよ。なぜかって聞くと「私たちは買い物を楽しみたいから店に行く」というわけ。つまり、服そのものより、どこで、どんなスタイルで買物をするか、という“生活形態”を買いに来てるんです。ですから、ただ商品を羅列しているだけではだめなんですよ。それを聞いてショックを受けましてね。今回の改装もそれがきっかけなん

出家が日本で初めてのショーをやつたんです。結果は全
く違う。

然受けずに大失敗。仕方なくそれをニューヨークへ持つて帰ってやつたら大成功で、向こうで一大ブームを巻き起したんです。ところが、又、それを日本で再演したら、今度はバカ受け。つまり、ニューヨークで流行つてゐるからという理由で受けたわけです。結局、今の若い人は時は時流に乗りたいんですね。メジャー志向って言うんでしょう。

岸野 うちも9月1日に新しくオープンしたなんですが、スタイルが大事だというのは正にその通りですね。今回はかなりイメージチェンジしたんですが、そうしたらメニューは全く變つてないのに客はガラッと変わったんですね。やはり売り方なんですね。

僕の場合、ちょっと古風かも知れませんが、ファッシュンヨンというものは、その人の実際の人格より少し上のレベルに見られるようなものでありたいと思うんです。

笹原 うち は、ジ ンコ パー ト II とか神 戸で 売 れる もの もや つて い ま す が、一 方 でア ベ・ケンショウ のよ う な 今 ま で神 戸に な か つた もの も苦 労 し て 売 て る ん です。レ
い う の は、さ つ き 岸 野 さ ん が お つ し ゃ た こ と も 分 か る ん で す が、僕 は む し ろ、そ れ を 身 に つ け る こ と によ つ て、今 ま で と は 違 う 自 分 を 発 見 す る 事、そ こ に ロ マン を 感 じ

林(久) うちは、最初はメーカーの力で育つてきただんで
いま、今はこじらへば、こじらへばどうかといふ
きませんから、そのうち見限らなきやいけない時が来る
かも知れませんが(笑)。それまではとことんやりたい
ですね。

状態なんです。カフエもやめちゃいましたしね。

——なぜやめたんですか？

林(久) 時代の流れでしようか、今ああいうのをやつても若い子は集まらないんですよ。むしろファンション一本に絞った方がいいと思いましてね。今はブティックに全力投球しています。

前田 僕が現場でやり始めた当時に思っていたことは、神戸のファッショントレーナー「ハイカラ神戸」なんて言うけど、本当は全然おしゃれじゃないんじやないか、ということなんですね。確かに山や海に囲まれていて、街の人も小ぎれいにコーディネイトされてはいるんだけど、みんな一画面的に見えたんです。だから、その中であえてマイナーを目指して、自分なりのこだわりを持ってやっていこうとしたわけです。

ところが最近、考え方があわってきました。例えば「衣食住」の中でも、「衣」って所詮二次元でしょ。それも30~40年単位で繰り返しているだけのもの。だとしたら、そんなものに対するこだわりをお客さんに押しつけるのはどうかなあ、という気がしてきたんです。もっと原点に戻って、お客さんが喜んでくれたらそれでいいんじや

ないか、という感じですね。今は淡淡とやっていますよ。

林(行) 僕は、生まれは神戸ですが仕事は昔屋でやってますから、割と醒めた目で神戸を見てるんです。今の神戸って大きいですが、商圈と言えるのはセンター街だけですよ。たかが五百メートル程度の商圈の中で、いつたい何がやれるか、ということなんですね。北野がありますが、あまりセンター街とは融合してませんしね

「ソロバンだけじゃやれない。みんな好きなんですよ。」
——状況として、もっとこうなって欲しいというのありますか？

山田 昔はみんな街に対する価値観を自分で決めて、楽しくやってましたよ。仲間を集めてね。それが最近は、組織的になっちゃってつまらなくなってきた。ただ、今でも好きでやっていることに変わりはないと思う。儲からなくともみんな満足しますよ。消費者サイドのニーズばかり考えてたらしんどくて続かない。楽しんでるからやれるんです。

笹原 うちなんか、もっとビジネスを考えなきゃいけないところに来てるんです。実際、流通のことはよく知つてますから、それを逆手に取った商売もします。結局、メーカーに早く次の店を出せって言われるから、そのためにお金ためなきゃいけないんです。お金のためにやつてたつていう感じもありますね。昔は、純粹に売れれば嬉しかったけど、今はあまりそういう喜びはない。僕も山田さんが言つたように、何やっていいか分からんないんですよ。考えてやるタイプでもないですが（笑）。

岸野 今はみんな経営者になって数字が仕事になってしまいましたが、最初はロマンでやつてきたと思う。僕の場合、それが理想の女性像なんです。みんなそれ

ぞれ、「こういう女性がいたら素敵だなあ」というイメージを持って、そこからボリシーを打ち出してやつていけば、この世界ももっと活性化すると思うんです。

今は、大手の直営店やフランチャイズ店が増えてきて、あまり面白くなくなりましたが、みんなの話を聞いていて、みんなファッショングが好きなんだなあというのがよくわかつて本当に嬉しいですよ。

笹原 神戸で面白いことをやつたがっている若者は多いと思うんですが、お金がかかりすぎて仲々トライアルでできない環境にあると思うんです。結局、ソロバン勘定ができる大企業しかできない。そういう環境の中で、今ここにいるみんなが何をしていいかわからないなんて言つちや本当はだめなんですね。後に続く若い連中のためにもやらないとね。

ところで若者といえば、今トア・ウエストなんか面白い動きがありますね。けつこうこだわってやつてる連中が多いですよ。『シユビドウビ』とか『ハットトリック』だとか。『これだけ気に入つたものにこだわつて売つてるんだから買え』と言わんばかりの迫力があるんです。

林（行）あそこは雑貨屋が多いんですが、たしかに面白い。今もつとも神戸らしくこだわつてやつてるのはあの辺ですね。

——他に何か、こうなつて欲しいというのありますか？

前田 少し話は変わりますが、ブティックで働く女の子のスタイルをもっと高めることはできないかなあ、と思うんです。高給を取るとかいうのではなくて、プロとしての評価がもっと高まるべきだと思う。

山田 お客様に満足感を与える人なら、もっと高いステータスが与えられることで当然だと思うんですが、あこがれだけで入つてくる人が多い。例えばメーカーとの折衝にしても、私が行かなくてもちろんハイレベルの話ができる人、責任感と社会性を持った人がもつと育つて欲しいというのはありますね。その点、ヨーロッパのハ



ウスマヌカンなんかはもっと誇りを持つてやっています

よ。

笹原 結局、人の問題ですよ。うちなんか独立採算制でやっています。経営的なこともオープンにして、これだけ売つたらこれだけボーナスやる、みたいにね。そうしたら、会議なんかでも自分たちでやってますし、伸び伸びやっていますよ。常に言つてるのは、辞める時にハネスに入つてよかつたと思えるように、自分で自分を作れ、ということなんです。最近は、出産後も復帰してきてくれますもいますし、やりやすくなつてきましたね。だから、ステータスが低いとは思えない。

岸野 僕もそう思います。うちに来てプロ意識をつかんで、いって欲しい。やる気のある人には、適材適所でどんどん仕事を任せていますよ。ちなみに、今僕は営業的なことはほとんどやつていません。やつてるのは企画面だけです。もちろん、それもやつてくれる人を育てていますが。

前田 僕がこの問題を提起したのは、人材の資質向上を各店ごとでは工夫してやつてゐるんですが、もつと全体でレベルアップする方法はないだろうかと思うからなんです。例えば業界全体で研修をするとか。

——“さんちか”なんかはやつてますね。

岸野 マスでやつても意味ないと思う。マナーは人間としての基本であつてプロ意識云々以前の問題ですよ。

——神戸の販売員は質が高いというので定評がありますし、又、神戸で働きたいという人も増えてますから、そういう人たちを大切にして欲しいですね。

最後になりますが、何か神戸ファッショを作つてい

く上での夢はありますか？

笹原 夢はクサる程ありますよ（笑）。例えば、港に倉庫を買って、そこにこだわり人間たちを集め、好き勝手に商売したいですね。業種にはこだわらずにね。何かそういう泥臭いことをやりたい。まあ、今はお金がなくて無理ですから、老後の楽しみにとつておきますよ

（笑）。

山田 僕は、何か人からうらやましがられる方法で引退したいですね。カッコ良くやめる方法はないかと、今考えてるんですね（笑）。こんなことを言つたからといって別に服屋が嫌になつた訳じやないですが、街に對して意識改革ができなくなつたら、やつても意味ないと思うんです。又、それができる何かが見つかったら、その時は全然別の形でやりたいですね。それでアルフイーの名前だけは残したい。

岸野 僕の場合は、「ファッショ馬鹿である」というアイデンティティーを持ち続けることでしょう。夢はあります。がノーコメントです。

——神戸の行政に對してはどうですか？

岸野 アメリティーという割にはないですよ。器ばかり作つてはいるような気がします。

山田 三宮駅周辺を公園にして欲しい。名古屋や札幌は道が整備されているから、どこへでも出店できるんですが、神戸は無理ですね。住むにはいい場所なんですが。

林（行） 神戸にはもう空いてる場所はないんですよ。今あるものを潰さなきや空かない。キヤバシティーがもう無いんですよ。

前田 行政は何もしてくれないので一番ですよ（笑）。

笹原 僕はけつこう学生の集団なんかとつき合ひあるんですが、神戸の学生はかわいそうですね。いつも身内でチマチマと遊んじやうんです。その点、大阪の学生の方が自由に発散して楽しんでますよ。もっと僕らが彼らの感性を育てるような土壤を作つていかなきやだめですよ。

前田 そうですね。結局、若い連中の活力を引き出すことが街を活性化させる一番の近道じゃないでしょうか。

笹原 その通りですね。

——皆さんが、若者のリーダーとして一層活躍されることを期待します。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株

取締役社長 川上 勉
神戸市中央区伊藤町121
TEL (078) 321-2111



話題のひろば

<II>

5周年に開いた マリーンナイト

チャリティ

▲瀬戸内美八の唄って踊る
ショー



上左は真珠とりゲーム。中上は森会長・高木東六・鬼塚喜八郎・望月美佐・初日寿各氏。

下は田辺聖子・川辺純夫・高橋孟さんたちを囲んだネオトロメンバー

音楽と舞踏を通じてのソサエティ
神戸ネオトロピカル協会（森美代子会長）が、八月二十三日の夜、5周年を迎えて神戸ポートピアホテル備楽の間で「マリーンナイト」と銘打つて約三百名の人々が集う大夜会を開いた。

楽しい企画でいつも話題を呼ぶパーティは、オープニングに貞松正一郎さんのバレエ海賊で開幕。玉井孝さんの軽妙な司会。森美代子会長のあいさつの後、乾杯は作家の田辺聖子さん。お食事も魚介料理と凝ったもの。

ショータイムは、元宝塚歌劇のトップスター瀬戸内美八さんと宝城さゆりさんの「海」をテーマにしたパンチのきいたファットショナルな唄と踊りに会場が湧いた。西河昇とフリーウェイオーケストラの演奏で、ダンスタイル。日頃ポートピアホテルのダンスレス

スンの成果もあって森原先生共々、軽やかに踊るメンバーも多い。ゲームは大月、森、木下、高橋の各真珠会社協力の真珠とり。本真珠が当たるとあって参加者50人。望月美佐、藤本ハルミ、岡田美代、加藤きよ子、村上和子、柳本薰、初田夫人、本誌・小泉も交つた八人のパフォーマンスはセーラー服のおにゃん子ちゃん登場で大爆笑。

チャリティ抽選会は、売上から里親運動の家庭養護促進協会（橋本事務長）に30万円を寄付した。神戸は神戸らしく、ダンスと交流がスマートな楽しい集いだった。

■12/6・7ワールド記念ホールで

話題のひろば

<III>

孫悟空が ポーアイを飛ぶ！

この冬、十二月六日(土)、七日(日)のポーアイ・ワールド記念ホールで何と、中華人民共和国山東省青島市京劇団約六十名がやってきた日中合作のアクション・ファンタジア“孫悟空”の日本初公演を、関西テレビ放送の主催で開くのだ。

この日中文化国際交流のイベントが、中国の伝統的な京劇団の中でも改革派の若々しい青島京劇団と、世界の最先端をゆく劇場機能をフル活用し、日本のテレビコンサート界の若手トップのスタッフ参加で、日本のヤング層をねらつたフレッシュな舞台を神戸で楽しめた。

このビッグイベントに先がけて関西テレビで九月四日に記者発表が行われ、青島市文化局の張演出科長や、青島市京劇団・徐監督そして、主演・孫悟空役の呂傑さんらと、日本側スタッフの演出家寺崎要氏(38歳)、「突然」ガバチョーさんまのまんま構成)と、デザインワークの日比野克彦氏らを紹介。三人のトリプルキャストで、二時間で暴れまくるパワフルな連続大立回りの殺陣を、悟空役の呂傑さんが連続するトンボ切りなどをスタジオで披露して大熱演。

演出も「花道」や、早変わり出法、西川きよしの「語り」など、日中合作の面白さが早くも感じられた。



右上／孫悟空の呂傑さん、左上／大立回りの殺陣をスタジオで、右下は青島市文化局と主演、監督らの話をきく、左下は日本：中国スタッフの記者会見風景

★
12月6日(土)、午後2時半と6時二回公演／7日午前11時と午後3時、計四回公演
於・ワールド記念ホール
(前売) 5500円 (当日) A 4500円
(前売) 4500円 (当日) 申込／SONG
OKU事務局 06(39)00059(代)



本日は、三宮センター街とNY（ニューヨーク）五番街との提携に際して、それまでのいきさつ、催しの内容、これからセンター街の在り方について、11月1日の提携記念セレモニーを前に、お話しいただきたいと思います。

★いま三宮センター街は

ニューヨーク

岸野 センター街も、もう38歳になるんじゃないかな。日本有数の商店街として、NY五番街との提携はおもしろいんじゃないかなといふことで、今回のお話を進めることにしたんですよ。

山田 私は実際にNYへ行つきましたが、何といってもあちらは世界一のショッピング街なので細かいところにまで非常に緊張しましたよ。ただ提携の準備ができたのが7月を過ぎてからだったのと、中途半端な時期にするよりは

年末のセールと兼ねた方がいいんじゃないかということと、11月1日スタートということに決定したんです。

隈部 私も山田さんに同行したんですが、やはり大変緊張しましたね。最初にお会いしたときに、神戸ってどこなんですか?と聞かれまして。ショックでしたね。

坂田 今回の提携のお話は最初、旅行代理店の方からあつたもので少しとまどいもあつたんですが、宮崎市長も賛成して下さつたり、中小企業庁や県の商業課の方がセンター街の視察に来られたりで、だんだん大規模になつてしまつてね。我々の方としても特別にPR委員会を設ける段取りをしました。11月1日の認証式には市長にもおいで頂くことになつております。この件の最大の功労者は宮崎市長ですね。

● KOBE 街づくりシリーズ・

ニューヨーク五番街と神戸センター街 11月姉妹提携を前に

■ 座談会

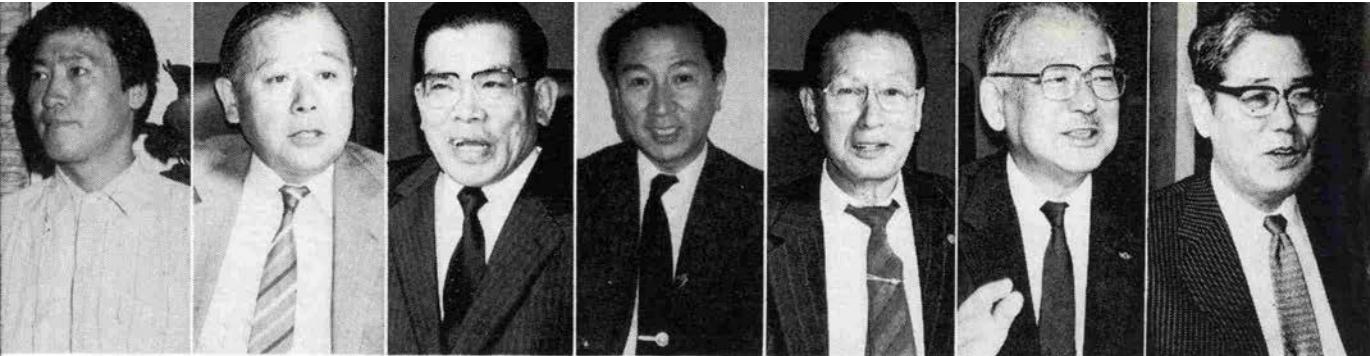
センター街にNY がやって来た!

笹山 最初、このお話を聞いたときはセンター街とNY五番街とは、町の感じも商売のやり方も違うし、大丈夫やろかと思ったんですけど(笑)。市長もまあええやないかと言われたもので。将来、センター街も五番街に負けんようにしてもらわんとあきませんね。

長澤 催しの内容としましては、11月1日から始まるアメリカン・フェアのオープニングとしまして、1日に宮崎市長をお招きしてのセレモニーをすることになつてます。その中ではパレードや、アメリカン・フェアにふさわしいギャルの選出、ストリート・パフォーマンスなど、盛りだくさんなイベントを計画しています。そしてクリスマスにかけて、輸入肉の販売や、アメリカン・グッズの展示など、いろいろな催しを企画中ですので、きっと皆さんにアメリカン・ファーリングを充分味わつて頂けると思います。

中本 そうですね。ニューヨークといえばやはり、世界のフロンティア精神のナンバーワン都市ですから、洗練された中にも人間臭さを持つニューヨーク色というものをできるだけとり入れて、より一層の街の活性化を図りたいです。

★日本のセンター街に



中本 伸一
神戸三宮センター街3丁目商店街振興組合総務部長

隅部 宏
神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合専務理事

坂田 光男
神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合理事長

長澤 基夫
神戸三宮センター街1丁目商店街振興組合副理事長

山田 六郎
神戸三宮センター街1丁目商店街振興組合理事長

岸野 利男
神戸三宮センター街連合会会長

笹山 幸俊
神戸市助役

山田 現在、センター街がかかっている最大の問題は、駐車場が少ないということですね。「見る」という観光の楽しみが抜けてしまつてからね。どうにかなりませんか、助役さん。

笹山 この車中心の社会において現在の三宮は非常に不便な状態ですね。だから中心から少し離れた所に大型バスの置ける駐車場を作つて、そこからゾーンバスというのを走らせて、回つてもらおうという計画も考えているんですが。

隅部 それはいい案ですね。

中本 メーター・パーキングを増やすというのはどうでしょうか?

坂田 駐車場の問題もそうやけど、神戸はやっぱり国際都市やら、ぜひとも神戸沖には空港が欲しいですね。21世紀の未来像として、空港があつてそこから出入りするというのが夢ですかね。

坂田 そうですね。神戸の計画として一番実現が難しいのが空港ですからね。昔から神戸は外国からの窓口として栄えた町だから、これから先も国際都市として海だけでなく、空の玄関にもなれるよう早く実現したいですね。

坂田 センター街はこれから毎年アメリカン・フェアを続け、いつかセンター街の入口にモニュメントを作ろうという案もあるんですよ。そして我々の夢としては、

アメリカに限らず世界中を視察して、その中で印象に残ったものをとり入れて、神戸国際都市の名に負けない商店街にしたいですね。どうですか。いろんな国と姉妹提携を結ぶというのは? 神戸はバタ臭い街だから、バタ臭い状態になると想いますよ。

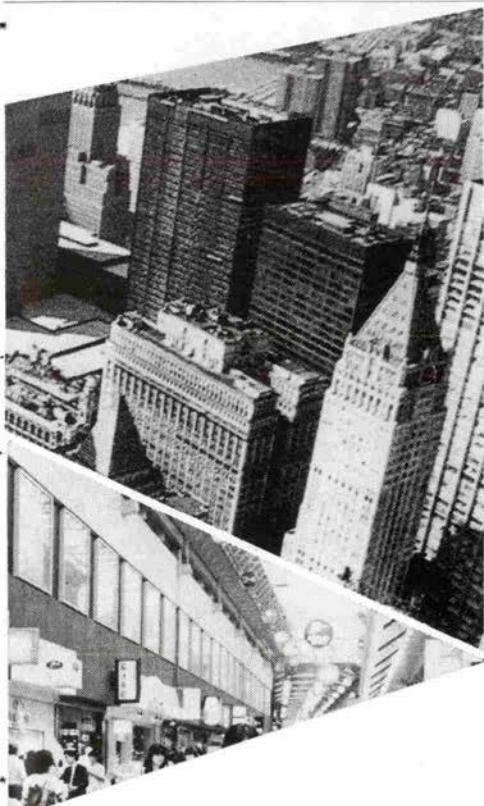
長澤 私も坂田さんの意見、いいと思いますよ。ニューヨークの場合は、神戸だけでなしに世界中多くの街と提携しているので、逆に神戸も、センター街とあちこちが提携したらしいなと思いますね。

中本 神戸の町は独自の個性をもつていて、あえてどこの国とふさわしいというのじゃなく、個人としては、どこの町とも融合していくと思いますね。センター街は神戸のリーダーショッピングストリートですから、今回の提携を機に、より一層国際感覚を身につけ、また、ヤングリーダーの育成にも力を入れていきたいですね。

そして洗練された中にも庶民感覚のあふれる、世界の三宮センター街へと、夢はどんどん広がりますね。

三宮センター街姉妹提携記念

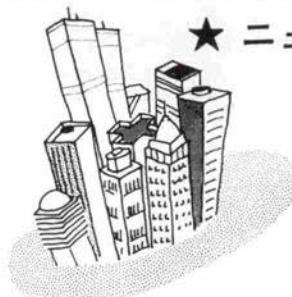
—— いま三宮センター街はニューヨーク



1丁目・2丁目・3丁目



★ ニューヨーカーズ・スクエア ★



★お楽しみグッズプレゼント★

センター街をカッポするきみに、耳よりのニュース。フェアの期間中、毎週毎週お楽しみグッズがプレゼントされるよ。投票用紙に記入して申し込むだけ。プレゼントグッズも週ごとにいろいろ変わるから楽しみも増えるよね。当たる当たらないは運次第だけどやっぱりチャレンジしてみなくっちゃ!

今やNY情報は、ボクたちの手中にある——わけで、最新情報が満載されたミニコミも発行される。これ一冊あれば、すぐにもニューヨーカーになれることまちがいないし!

「スマート・ケチ」な神戸っ子にうれしいことには、ショッピングのディスカウント券もついているというんだから、これゼッタイ見逃せないヨ。センター街のミニコミBOXに置く予定なので早いとこもらっとくべし。

イーストコーストの風が、ボクらにNY気分を運んでくる。三宮センター街を歩けば、君はもうニューヨーカー!ボリュームたっぷりのアメリカ食肉販売コーナーや本場ブロードウェイミュージカルのポスター・グッズの直販など、すっかりニューヨークしちゃってる。ほかにも、秘蔵のメトロポリタン美術館レプリカ・チャイナ商品の展示にアイラブNYグッズとポスターの販売などなど、ニューヨーカーになれるチャンス、逃がす手はないゾ。

I LOVE
NEW YORK

★ミニコミペーパー★

(但し、変更あり)





祝・ニューヨーク五番街

NEW YORK CITY FAIR

★セレモニー★

(11月1日センター街1丁目入口)

メインイベントとして11月1日(土)に三宮センター街でセレモニーが開催される。ニューヨーク5番街と三宮センター街とが姉妹提携するなんて、まるで夢のようだけど、宮崎神戸市長もニューヨーク市長も大いに喜んでいる。当日は、神戸消防音楽隊の国歌演奏“星条旗よ永遠なれ”でもうアメリカンムード一色。ジョン・デンバーの独唱もあれば言うことないんだけどネ…。ニューヨークからの電話メッセージや祝辞もあって、セレモニーも盛り上がりそう。そして同音楽隊のドリルショーや1丁目～3丁目まで風船をくばってあるくパレードなどなど、センター街はワイワイお祭りさわぎだ。



★USAグッズショップ★

新しモノ好きの神戸っ子なら、アメリカン・グッズはいろいろ知ってるはずだよね。それでもめいっぱい新しいモノや珍しいモノを集めた“USAグッズショップ”をのぞいてみると思わず収穫があると思うよ。家庭雑貨のアレコレ、文具やインテリア小物、ノベルティなどNY直の代物が満パイよ。

★デコレーション★



でわけで、もうなんてったってセンター街はニューヨーク色なんだけど、さらに雰囲気をヨイショするのが、街のデコレーションなんだ。11月21日までは、ニューヨークのシンボルのマンハッタンとアップルをメインにしたフラッグが飾られ、クリスマス近くになるとトランペット・ペナントやひいらぎも飾られる。センスアップしたセンター街に好奇心旺盛な神戸っ子たるモノ、全員集合せよ！



三宮センター街連合会

KOBE JAZZ STREET '86

神戸ジャズストリート

★K O B E U P T O W N に
ジャズが流れる

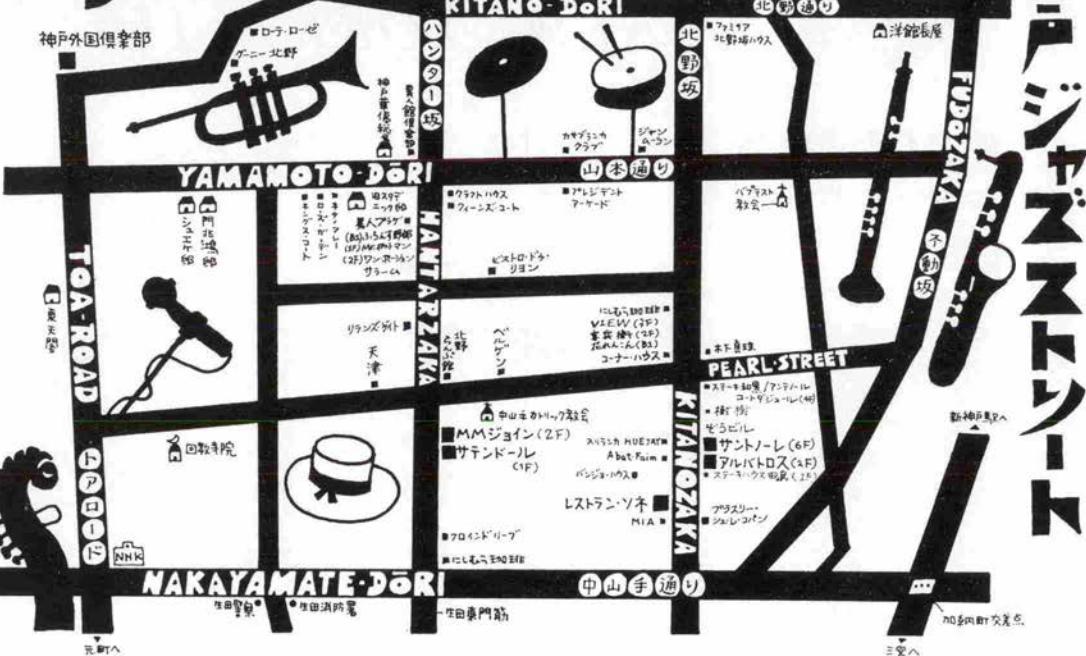
芸術の秋、食欲の秋、北野にジヤズの流れる季節。5回目を迎える『神戸ジヤズストリート』が今年も10月11日(土)12日(日)12時から17時まで開かれる。

年も10月11日(土)12日(日)12

シャス・コンベンションの常連ボブ・バーナードとクリス・タペルも特別出演、笈田敏夫、アンリ菅野、ドーリー・ベーカー、北村英治などお馴染みのメンバーに、ソネットリオ、サテンドール・ユニット、小曾根親子カルテット、滝えり子トリオ、サンタントーレ・グループなど神戸のジャズメンが勢揃いする。



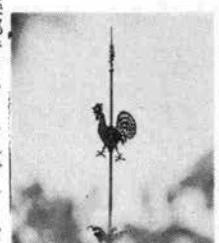
北野の10月はジャズファン・グルメファンを満足させる



国俱楽部。神戸のライブスポット
の草分け的存在のソネ。アダルト
なムードのアルバトロス。愉快な
メンバーのハッピーな音楽いっぽ
いのサントノーレは17周年を迎
た。若者に人気の店、サテンドー
ルはベース、ピアノのデュオと女
性のヴォーカル。M・Mジョイン
は小曾根実を中心としたハウスバ
ンドがゴキゲンにスイングする。

旧パナマ領事館のハリウッドスタ
ークエイ。銀幕に流れるしつとり
としたジャズもなかなかのもの。
今年初めて会場になったサローネ
サルーテは白木造りの素敵なおフロ
ア。これら8つの会場はワッペン

1枚(2800円、当日3000円、
両日通しは5000円)で自由に
"はしごジャズ"が出来る。
また10日の19時からは神戸外国俱



足の向くまま気の向くまま
北野巡り

樂部でフォーマルダンスパーティ
が前夜祭として行われる。
一日ジャズに酔いしれた後、余
韻にひたりながら、北野で食事を
するのもまた素敵。三田肉の指定
第1号店となつた"和黒"、炭火焼

の逸品がこたえられない"田島"。
あなたのお好みのステーキは?
"樹樹"ではこれまでとは一味違
つた新しい感覚の中国料理が楽し
めそう。ハンター坂にある"クイ
ーンズコート"は新鮮な海の幸が
いっぱい。つたの茂りが美しい、
会員制のにしむら珈琲北野店。二
階は本格的なレストラン"シェ・
ラ・メールにしむら"で、ムード
にフランス料理を味わえる。そ
してコートダジュールでグラスを
傾けてみては?アルバトロスや、
サントノーレを覗けば、昼の興奮
そのままにライブが聴ける。北野
でスイング&グルメしませんか。

CINEMA MUSEUM

Hollywood
KOBE
KITANO
Starway

TEL221-3779

グルメの集うサロン

Queen's Court

TEL242-2469



PRIVATE
SALOON
CatedAzur

TEL222-7222

ミュージック・ラウンジ

サントノーレ

TEL221-3886

神戸肉 炭火焼ステーキハウス



TEL241-3434



リスボンの空間

シアター・ポシェット

TEL242-3959

レンガ造りの本場フランスレストラン
シェ・ラ・メール 

会員制にしむら珈琲北野店 2F
TEL242-2467

気品の香り
神戸ビーフの世界へ誘う

あぶり肉工房

和 黒

TEL222-0678

スタンダードジャズに酔って

ALBATROSS
神戸アルバトロスジャズ

TEL231-3320

新しい感覚の中国料理です

樹樹
中国料理

TEL231-5551

'86-'87 AUTUMN WINTER SERIZAWA COLLECTION



イタリーでみつけたエレガンス。
コートは冬の街に、薫るのです。



serizawa
KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-6 TEL.078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■P-4ショップ ■メンズセリザワ ■KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

極める時代・そごう

贅沢コレクション

〈XIV〉

■心ゆたかに■

毛皮のみならず モードをリードする



「そごうの展示会で、今着ているオレンジの服を見つけ、いつ間に気に入りました。それ以来、フェンディ一辺倒です。『フェンディ』といえばパッケージのイメージが強いですが、本当は毛皮だつたんですね。洋服もとてもおしゃれで、母や兄の評判も上々です」長い髪がチャーミングな加奈子さんは宝塚にお住まい。お母さまとのショッピングはいつもパレロアリアルだが、フェンディの服は色使いのセンスが良く、とても着やすいそうだ。

「フェンディ」といえばファッショナブルな毛皮で有名だが、加奈子さんも、この冬に向けて早速黒ミンクのハーフコートを買ってもらつた。来年から社会人になるがフェンディファッショーンはキャリアレディにも相応しいコーディネイトができそう。

中村 加奈子さん

〈甲南女子大学4回生〉



FENDI



フェンディは家族の絆が強いといわれているイタリア社会の典型で、1918年にアデーレ・カサングランデが創業以来、現在は5人の娘達がビジネスを支えている。長女が毛皮、次女が皮革、三女がブティック、四女がプレス、五女が毛皮工房をそれぞれ担当し大きな成功を収めている。充実した内容でフェンディブティックはこの秋、新装オープン。

ROYAL SALON

パレロアリアル

新館5階

V
valentino garavani
ヴァレンティノ・ガラヴァーニ

GUCCI
by
JUN MIZOHAMA
グッチ

CELINE
セリース

TRUSSARDI
MILANO
トラサルディ

Aquascutum
アクアスキュータム

HERNO
ヘルノ

Gian Versare
シャンニ・ヴェルサーチ

GUY LAROCHE
ギ・ラロッシュ

FENDI
フェンディ

GIORGIO ARMANI
ジョルジオ・アルマーニ

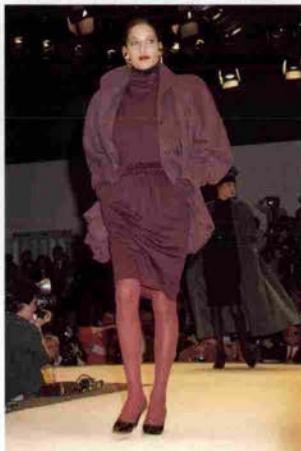
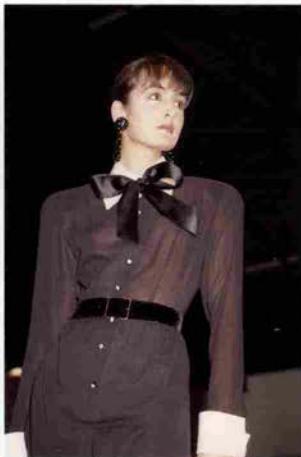
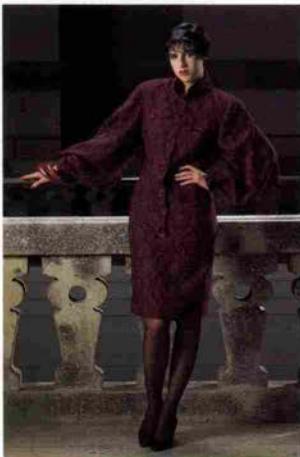
LANVIN
ランバン

MISSONI
ミッソーニ

マイセンサロン

SOGO
SANNOMIYA KOBE

フェンディ'86~'87秋冬コレクション



深まりゆく秋に、手づくりの味を。



●秋・冬物が入荷いたしております。

撮影協力／神戸北野公開異人館展望塔の家

渡邊 洋服・紳

東京・大阪・神戸・姫路

神戸市中央区磯上通8-1-32 グリーンビル TEL 078-251-8501(代)
9:30AM~6:30PM 毎月曜・第3火曜休



オープニングパーティ風景



ヒルトンプラザ店

この秋の話題を呼んだ、
“大阪ヒルトンインターナシ
ヨナル”の「ヒルトンプラザ」
2FにブティックNISHIKA
WAを開店いたしました。
オープニングパーティには
沢山お出かけ下さいまして
ありがとうございます。
トアロード本店、ナビオ阪
急店ともどもお引立て下さ
いませ。 西川 幸利



ブティック

NISHIKAWA

大阪市北区梅田1丁目8-16
TEL (06)347-7481 (代)

ヒルトンプラザ²F

紳士服飾

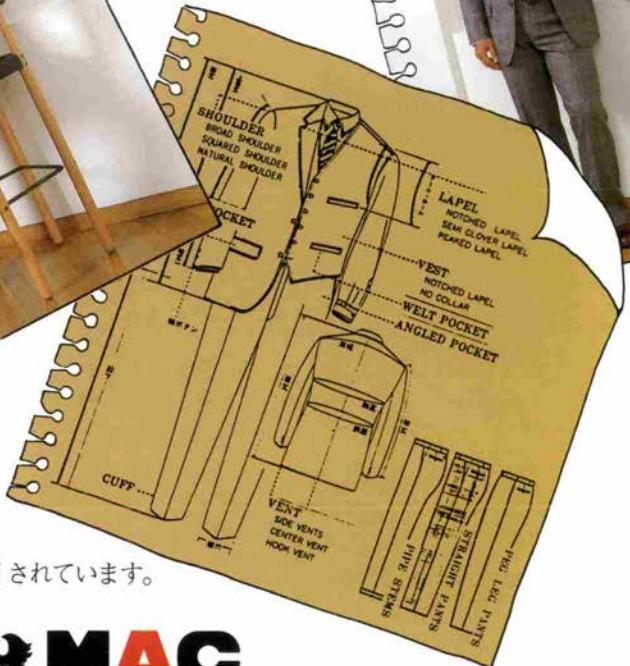
西 川

神戸市中央区北長狭通2丁目6-4
TEL (078)391-1433
ジバンシ-西川/大阪市北区角田町7-10
ナビオ阪急5F ☎ (06)316-1433~4

専門誌以上にトラッドを
知りたい方……
MACへ。



SUIT
シングル3つボタン段返り
グレン・チェック
スラックス
ストレートシルエット
¥65,000
チップ



この秋正統派スーツ、ジャケットが注目されています。



本部/中央区三宮町1丁目6-22(ニューセンター7F) (078) 392-1651

三宮本店/三宮センター街 (078) 391-0895
ブレザーショップ/トアロード (078) 391-0896
ドルチェマック/三宮センター街 (078) 332-0141

京都店/藤井大丸2F (075) 211-0857
姫路店/FESTA 2,3F (0792) 89-4738
宝塚店/宝塚南口サンビオラ3F (0797) 71-4830

★上方味覚紀行 「一久」 楠本憲吉

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000) 10月号

「関大人国記」卒業生篇

篠原茂一

創造の世界

田崎真珠海洋生物研究所

孟さんの新風俗記「神戸ワイン城」

高橋 孟

大阪の曲がり角

木津川 計

GOOD LIFE賛歌

佳子ホルム

玄妙禪談

村瀬 玄妙



桂べかこ

★スターハイライト



特 集

1. 京阪神
ファッショニマンス
2. ニューマテ'86
ジャパン
3. うまいもん神戸

神戸の味を100人の
神戸っ子が推薦します。



● 関

牧翁

(天竜寺管長)

● 名医に聞く

■ ピックインタビュー